

年 組 名前：

問1

都留市の佐伯橋が認定された選奨土木遺産とは、どんな制度ですか。

.....

.....

.....

.....



土木学会の選奨土木遺産に選ばれた佐伯橋
—都留市田原4丁目

問2

①～⑤のうち、佐伯橋に関して、正しいものすべてに○をつけてください。

- 「 」 ① 完成したのは1937年
- 「 」 ② 郡内地域の構造物では初めての認定
- 「 」 ③ 富士川に架かっている
- 「 」 ④ ソリッドリブ形式と呼ばれるアーチ橋
- 「 」 ⑤ 市の名勝「田原の滝」が眺望できる

問3

遺産認定によって、今後どのようなことが期待できると思いますか。

.....

.....

.....

.....

「佐伯橋」
土木遺産に認定

都留市田原4丁目の「佐伯橋」が、2020年度の土木学会の選奨土木遺産に選ばれた。1927年に完成した橋で、市の名勝「田原の滝」を眺望できる場所として市民や観光客の間で長年親しまれている。県内で土木遺産に選ばれるのは、「亀甲橋」（山梨市）などを含めて6カ所目。郡内地域の構造物では初めての認定となる。

都留 名勝望み親しまれる

市建設課によると、佐伯橋は桂川に架かる全長45m、幅員6・3mの橋。アーチ部分にI形の桁を用いる「ソリッドリブ形式」と呼ばれるアーチ橋で、1927年に完成した。当時のデザインを残したまま補修を重ねてきたことや、市の名勝「田原の滝」を眺望できる場所として市民や観光客に長年親しまれてきた点が評価された。

18日には佐伯橋付近で認定書授与式が行われ、土木学会の担当者が堀内富久市長に認定書と銘板を贈った。堀内市長は「今回の認定を機に、佐伯橋や田原の滝の魅力を全国に発信したい」と抱負を述べた。

土木遺産は、歴史的な建造物の保存を目的に土木学会が2000年に設立した認定制度。県内ではこれまでに「亀甲橋」（山梨市）、「日川の堰堤と水制群」（甲州市）、「長潭橋」（甲府、甲斐市）など5カ所が選ばれている。20年度は全国から富山県の「黒部ダム」や栃木県の「日光いろは坂（第1・第2）」など26カ所が土木遺産に認定された。（遠西義治）

(2020年11月25日付 山梨日日新聞20面)